

2～3年生の低学年には、飽きないで続けられるような当てるなどの遊び感覚の練習を導入。「楽しみながらサッカーになじんでもらいたいですね」と笹岡監督。



「褒めて才能を伸ばす」が監督のモットー。「ただ、高学年と一緒に試合形式の練習をするときは手を抜きません。ひたむきさや一生懸命さを学んでもらえるよう、いつも真剣に接しています」

活動情報

ももとは笹岡監督が公園で自分の息子にサッカーを教えていたのがきっかけ。徐々に仲間が増えたため学校側と相談し、平成7年にチームとして発足。平成15年から八幡小学校以外の学校の生徒が参加し、現在は八幡・石狩・厚田村聚富小学校の6年生7人、5年生4人、4年生2人、3年生4人、2年生2人の計19人が所属しています。

一致団結! 八幡FCボンバーズ!

また、今年から親たちもチームを結成。「見ているうちにやりたくなった」とは、メンバーの中村清美さん。チーム名は八幡のH、聚富のS、石狩のIをとった「HSI」に決定。子どもからの交流のパスが大人へも着々とつながっています。

監督の笹岡孝義さんは「今年から親たちもチームを結成。『見ているうちにやりたくなった』とは、メンバーの中村清美さん。チーム名は八幡のH、聚富のS、石狩のIをとった『HSI』に決定。子どもからの交流のパスが大人へも着々とつながっています。」

10月1日に厚田村、浜益村と合併する石狩市。子どもたちの交流が始まっています。



メンバー募集中!

対象：小学生の男女
 毎週水曜 16:00～18:00
 毎週土曜 14:00～17:00
 所 八幡小学校
 入会金 3,000円 月 3,000円
 難波さん ☎62-3402

句歌歳時記

俳句

花吹雪香り 灰かに立ちにけり

佐藤 友企子

大玉を顔に散らせるしやぼん玉

田中 五郎

笑窪までそろひ双子の石鹸玉

野原 香雪

短歌

こぬか雨に濡れて咲きあがる紫陽花の

成澤 櫻子

濃き紅色にも憂いのありや

野口 栄子

白き月文月夕ぐれかへり道

野口 栄子

すみれ色の花びらに似し小さき蝶

上西 時代

大募集!!

毎月の締め切りは前月の5日!!

特集をはじめ広報紙への意見や感想、批評、質問などをお寄せください。匿名希望の場合もお便りには名前・住所・電話番号を必ず明記してください。



☎061-3292 石狩市役所
 広報いしかり 係
 ☎0133-72-3153 ☎0133-74-5581
 ✉PR@city.ishikari.hokkaido.jp

まちの話題

●まちの主な出来事を写真で振り返ります。

6月22日

●市内すべての赤ちゃんへ 絵本を手渡すために

市民図書館で第1回「ブックスタート学習会」が開かれました。ブックスタートは、絵本を通して親子が触れ合うことを地域ぐるみで支援する活動です。市民図書館が平成18年度開始を目指し、ブックスタート会場やフォローアップに協力していただけるボランティアさんなどを対象に開催しました。60人を超える参加人数からも、市民のブックスタートに対する関心の高さがうかがえました。



6月26日

●男女の平等な立場とは？

りんくるで開催された「男女共同参画フォーラム」では、札幌市在住の落語家・林家とんでん平氏が父親から見た男女共同参画について基調講演を、続くパネルディスカッションでは男女の平等・対等な立場とは何かについて意見を交換。障がいを持つ来場者から「男性にもっと

福祉活動へ関心を持ってほしいと思う」と、文字通り男女共同参画を期待する声もあがりました。



7月9日

●本町地区に新名所が誕生！

石狩温泉「番屋の湯」入り口前に、ホッケやホタテ、ブロッコリー、ニンジンなど石狩産の新鮮な魚介類や野菜が並ぶ「来い来い番屋の生鮮広場」がオープンしました。「石狩本町かみさん会」が運営し、今後は厚田・浜益とも協力を図っていくとのこと。土日祝日が営業日で、食堂やフリーマーケットもあります。



会員募集 圏市民の声を聴く課

広報いしかり10月号の
会員募集記事掲載申込書の受付期間は
8月25日(木)～9月5日(月)です。

- ・広報紙への会員募集記事掲載は、「年1回」です。
 - ・掲載希望の場合は、「会員募集記事掲載申込書」に必要事項を記入の上、上記受付期間中に市民の声を聴く課窓口へ持参・郵送・ファックス・Eメールのいずれかの方法で提出してください(先着8件まで)。
- ※申込書は市役所1階市民の声を聴く課窓口・各コミセン・市公民館にあるほか、石狩市ホームページからもダウンロードできます

要約筆記サークル「そよかせ」

時 第2土曜10:00～12:00 第3火曜13:00～16:00
所 りんくる 年1,000円
関 吉田さん ☎74-3798

北海道英語チャレンジ・カップで優勝

英会話の能力を競うコンテスト「第12回北海道英語チャレンジ・カップ」(AJET北海道支部主催)で、花川南中学校2年生の伊藤和さんが優勝しました。このコンテストには、石狩市から11人、北海道では122人の参加があり、石狩市から優勝者が出たのは初めて。伊藤さんたち参加者は学校での授業のほかに、石狩市の英語指導助手デブラさんが放課後に行っている、英語を使ったレクリエーションを通して英会話を覚えていきました。「優勝したことは今でも信じられません。優勝者は、2週間の海外ホームステイができるので今から楽しみです。将来は、英会話を生かして海外で働いてみたい」と喜びいっぱいの伊藤さんでした。

伊藤さん(左)と
英語指導助手デブラさん(右)

